

令和3年度棚倉町立近津小学校
学校経営・運営ビジョン

教育基本法・学校教育法・学習指導要領

- 第6次福島県総合教育計画
「"ふくしまの和"で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」
- 県南教育事務所の施策等
「夢と希望をはぐくむ県南の教育」
- 棚倉町教育委員会の施策
「夢をつなぎ志を育み、よりよく生きようとする子どもの育成」

児童の実態

- 素直で明るい。
- 勤労を苦にしない。
- 自分のよさを伸ばそうとしない。
- まじめだが受け身である。
- 人間関係が固定化している。

教育目標

志高く、確かな目標をもち、自己を磨く、しなやかな子どもの育成

- 進んで学ぶ子ども(知) ○思いやりのある子ども(徳) ○明るく元気な子ども(体)
- ※ 生きる力を育み、将来に向けて自立できる児童を育成する。

基本方針

- 将来の児童の姿を想起し、キャリア教育をベースに様々な教育を展開していく。
- 児童の成長に気づき認めたり賞賛したりしながら児童の意欲を高める。
- 全教職員で一人一人を育てるというスタンスで、情報を共有し共通理解のもとに教育活動を展開する。
- 教職員一人一人が経営の一員という自覚のもと、持ち味を十分に発揮しながら組織の活性化に努める。
- 家庭や地域との連携を図り、よりよい教育活動の推進に努める。

今年度の重点

- 1 キャリア教育の充実・基礎的・汎用的能力の育成
- 2 夢をかなえるための学力の向上
- 3 幼稚園・中学校・家庭・地域等との連携

めざす学校像

- 児童一人一人に生きる力を育むことができる学校
- 温かく穏やかで安全・安心な学校
- 一人一人の存在感がある学校
- 児童・保護者・地域から信頼される学校

めざす教師像

- 児童一人一人のよりよい成長を目指し、愛情を持って教育にあたる教師
- 専門職としての自覚を持ち、常に指導力・資質向上等に努める教師
- 服務規律を守り望ましい人間関係を構築し信頼される教師

目指す児童像

- 気づき考え実行する子ども
- 最後までやりとおす子ども
- よさに気づき認めることができる子ども
- 自分を伸ばそうと努力する子ども

キャリア教育の充実・基礎的・汎用的能力の育成

- 1 近津小学校のキャリア教育についての理解・啓発
(1) 教職員へ・・・考えや実践例の説明や提示
(2) 保護者・地域へ・・・PTA 集会等での説明・情報提供
- 2 基礎的・汎用的能力を育てる授業（児童主体の授業）
(1) 付箋紙やツール等の活用、考えさせる場の設定と振り返りの重視
(2) 計画的な学習への取り組み（活用シートへの組み合せ方等）
- 3 視野を広める体験活動の充実
(1) 行事や活動等のキャリア教育の視点での見直しと実践
(2) 郷土のよさを取り入れた実践の充実
(3) 外部人材・企業等との連携（専門家・本物との出会い）
- 4 キャリア能力を発揮する場の設定
(1) 児童会活動・クラブ活動等の充実
(2) 児童自身が考えた活動の奨励

夢をかなえるための学力の向上

- 1 教員一人一人の指導力の向上
(1) 学びのスタンダードの理解と授業による研修
・県南教育事務所指導主事等による指導・助言
・全国学力・学習状況調査結果並びに問題の分析
- 2 基礎的・基本的内容の確実な習得
(1) 読み・書き・計算、学習の仕方等の確実な習得
・フレッシュタイム・アタックタイム等の充実
(2) 学校図書館の活用と読書指導の充実
(2) 家庭学習の充実
・家庭学習スタンダードの活用・保護者への啓発
・生活ノート（ホップ・ステップ・ジャンプ）の活用
- 3 ICTの積極活用
(1) タブレットを活用した授業の実践
(2) ICTの活用についての研修の実施

幼稚園・中学校・家庭・地域との連携

- 1 幼稚園・中学校との連携
(1) 幼稚園との合同で実施する行事・活動の充実
(2) 生活科・総合的な学習等の授業交流
・園児との活動、プレゼン、イベント等
(3) 日常の交流の充実
・朝のあいさつ等
(4) 棚倉中学校公開授業への参加・情報交換
- 2 家庭・地域との連携
(1) 学校・学年だより、ホームページ等による情報提供
(2) 地域人材・地域素材の積極的な活用
- 3 ちかサポ・学校運営協議会との連携
(1) 学校評価と協力体制の確立
(2) 学習支援の充実
(3) 3.11の実践協力

教育活動の基盤となる環境の整備

体力・健康教育の充実

- 体力テストの分析と強化指導
- 健康課題（むし歯、肥満、視力）に対する指導の充実
・児童自身が考えて実践するような取り組みの工夫
- 児童主体の体力・健康教育の推進（児童会の充実等）

生徒指導の充実

- 未然防止と早期対応・早期解決
・いじめ（いじめの把握と確実な認知）・不登校予防
- 問題行動への早期対応
・職員会議等での情報交換、SSW 等との連携

安全・安心な学校・学級づくり

- 児童一人一人が安心できる学級づくり
- 確実な安全点検、各種訓練等による安全指導の充実
- 通信やマチコミ等による情報の提供、開かれた学校
- 関係機関等との連携